

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和03年01月12日

計画の名称	既存ストックの安全性確保による安全・安心な市街地環境づくり(その2)(防災・安全)												
計画の期間	令和02年度 ~ 令和06年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	草津市												
計画の目標	市内の社会インフラ等の計画的・戦略的な維持管理および改築・更新等を促進することで、ライフサイクルコストの縮減を図るとともに、安全・安心な市街地環境の創出により、市民の快適な暮らしの実現を目指す。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	421	A	421	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初	R5末	R6末
1	公園施設等の改築・更新等により、元気・潤いのある市街地環境の創造を図る。 改築・更新が必要な施設の改築・更新の実施率(%) (改築・更新を実施した施設数) ÷ (改築・更新が必要な施設数)	0%	77%	100%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	×	避難行動要支援者名簿の提供	○
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---	---------------	---

A 基幹事業																					
基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												R02	R03	R04	R05	R06					
		一体的に実施することにより期待される効果																			
		備考																			
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	草津市	直接	草津市	-	-	公園施設長寿命化対策事業	改築・更新の必要性が認められた公園における施設等の改築・更新(53公園)	草津市						361	1.27	策定済		
	A12-002	公園	一般	草津市	直接	草津市	-	-	公園施設長寿命化対策事業(5か年老朽)	改築・更新の必要性が認められた公園における施設等の改築・更新(4公園)	草津市						60	1.27	策定済		
												小計						421			
											合計						421				

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02	R03	R04		
配分額 (a)	12	17	53		
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	12	17	53		
前年度からの繰越額 (d)	0	12	15		
支払済額 (e)	0	14	68		
翌年度繰越額 (f)	12	15	0		
うち未契約繰越額(g)	12	15	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	100	51.72	0		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	事業計画の再検討に不測の日数を要したため。	事業計画の再検討に不測の日数を要したため。			

(参考図面)

計画の名称	既存ストックの安全性確保による安全・安心な市街地環境づくり(その2) (防災・安全)		
計画の期間	令和2年度～令和6年度	交付対象	草津市

- A12-001 公園施設長寿命化対策事業
- A12-002 公園施設長寿命化対策事業 (5か年老朽)



凡 例	
■	基幹事業 (通常)
■	基幹事業 (5か年老朽)
■ ■	総合公園、地区公園
● ●	近隣公園、街区公園



事前評価チェックシート

計画の名称： 既存ストックの安全性確保による安全・安心な市街地環境づくり（その2）（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画との適合等 1) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2) 地域の課題を踏まえた目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 3) 緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業熟度が十分である。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 継続的な事業の展開が見込まれる。	○